特殊詐欺被害多発に伴う緊急メッセージ

この街はだまされない！

「犯人からの電話を受けない」「キャッシュカードを渡さない」「暗証番号を教えない」

長野県内では、今年に入り、警察官や役所職員などをかたり、キャッシュカードや預金通帳を狙う特殊詐欺の被害が多発し、４月末現在では、認知件数が昨年の１．６倍、被害総額も８千４百万円余に達するなど、極めて深刻な状況にあります。

このような状況を踏まえ、本日、県民の皆様に「特殊詐欺被害多発に伴う緊急メッセージ」をお伝えするとともに、特殊詐欺を撲滅して県民の皆様の安全と安心を確保するため、緊急かつ集中的に

- ○　特殊詐欺の発生が予想される地域における特別警戒
- ○　特殊詐欺の前兆となる事案を認知した際の特別警戒と注意喚起
- ○　特殊詐欺の手口や、犯人からの電話を受けないための対策の更なる周知
- ○　特殊詐欺の徹底検挙

に、長野県警察の総力を挙げて取り組みます。

加えて、特殊詐欺の被害予防に必要な広報啓発など、地域における取り組みを一層充実・強化してまいりますが、県民の皆様におかれましても、次の３点について、お一人お一人が心掛けていただきますよう、お願いいたします。

- ○　一つ目は　**「犯人からの電話を受けない」**　ということです。
  犯人と話をしないため、自宅の電話を常に留守番電話に設定してください。
- ○　二つ目は　**「キャッシュカードを渡さない」**　ということです。
  電話で警察官や役所職員などを名乗る者から、キャッシュカードや預金通帳を要求されても、絶対に渡さないでください。
- ○　三つ目は　**「暗証番号を教えない」**　ということです。
  他人にキャッシュカードの暗証番号は絶対に教えないでください。

また、特殊詐欺を撲滅するためには、被害に遭いそうな人がいたら地域全体で声をかけ、被害を未然に阻止することが重要です。

県民の皆様におかれましては、**「この街はだまされない！」**を合言葉として想いを一つにし、日本一安全・安心な信州をめざして、一丸となった取り組みが推進されますよう、御協力をお願いします。

令和２年６月１日

長野県警察本部長　安田　浩己